

# ポイントオブケア超音波をきっかけに診断した 新型コロナウイルス感染症の1例

東灘区・東神戸病院 水間 美宏 (医師)

**背景：**新型コロナウイルス感染症が拡大し、海外では臨床医自ら患者の傍らで行なうポイントオブケア超音波の有用性が報告されている。

**目的：**聴診に続く身体検査として行なったポイントオブケア超音波で異常を認め、新型コロナウイルス感染症と診断した1例を報告する。

**方法：**2020年3月9日から5月16日までの発熱外来受診者265名のうち、著者が診察した37名全員に呼吸器POCUSを実施した。

**結果：**1例で癒合したB-ラインを認め、胸部CTでスリガラス影を認め、PCR陽性で新型コロナウイルス感染症と診断した。

**結論：**ポイントオブケア超音波の新型コロナウイルス肺炎での精度は、聴診や胸部単純X線より優れると報告されている。一方、胸部CTは肺炎を早期診断できるが、院内感染が問題となる。CTが普及する我国でも、院内感染のためすぐCTを実施し難い状況下では、ポイントオブケア超音波を身体検査に加えることが選択肢となり得る。